

### ご挨拶

#### 硬式野球部部長 小島 淳

この春、国語の教員として日立第一高等学校より赴任しました。前任校も含め25年間、磯原高校、里美高校、東海高校、そして日立一高と県北地区で野球部の指導に関わって参りました。特に、前任校での最後の3年間、野球部長として、中山頭先生（前水戸一高野球部監督）とともに野球に携わることができました。21世紀枠関東・東京代表校選出、秋夏のベスト8など大変良い経験をさせていただきました。



その中山先生からは「水戸一高は、県内公立高校で甲子園を狙える数少ない学校のひとつです。頑張ってください。」と饒の言葉をいただいて赴任して参りました。

「ひとつのもの ただひとつのもの ひたむきにそれと取り組んできた人 その人にわたしはいままでにしたことのないおじぎをする」

これは、皆様ご存じの通り、サトウハチロー氏が飛田穂洲先生を偲んで作詩した「はじめの詩」の一節です。この詩のように、高校野球の「ひたむきさ」「一途さ」に魅かれ、この世界で教員生活を歩んで参りました。そして、赴任してから5ヶ月、本校に関わる多くの方々の「ひたむき」な思いを実感しました。「再び甲子園で校歌を」。そして、本校野球部員の純粋に野球に取り組む姿勢は、まさに穂洲先生が唱えたそれでした。「一球入魂」。

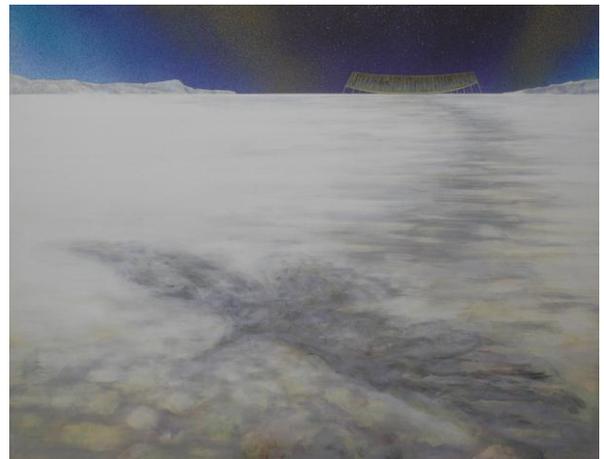
改めて、伝統ある本校野球部長に任命いただき「責任」の重さをひしひしと感じております。人望厚い竹内達郎監督とともに、選手たちの「人間力の育成」を目的に、そして「再び甲子園で校歌を」を目標に、「一途に一心に」指導にあたっていく所存です。

どうぞ皆様方におかれましても、本校野球部に対しまして今後とも物心両面にわたるご支援を重ねて宜しくお願いいたします。

#### 硬式野球部顧問 太田 泰助

この度、4月より赴任いたしました太田と申します。着任にあたり、ご挨拶と自己紹介をさせていただきます。

私は今春、ご定年退職されました前任の野球部顧問、町田博文先生の後任として配属されました。従って教科は美術であります。専門は日本画であり、せん越ながら教員としての傍ら、県展、公募展等々で作品発表させていただいております。町田先生は私の出身である県立土浦湖北高校での恩師であり、後を継がせていただくことに大変重圧を感じているところであります。そして伝統ある水戸一高野球部の顧問としてお世話になりますことに、光栄であるとともに身の引きしめる思いであります。



太田先生の県展出展作品「箱舟」

私は美術教師ではありますが、前述の土浦湖北高校では高校球児でありました。野球のレベルに違いはありましたが、常総学院出身の竹内監督とは同世代であり、同じ地区で鎬を削った私としては、憧れの目で見っていた常総の中心選手であった竹内監督と同じグラウンドに立てることに、嬉しさとか何かのご縁を感じています。

縁といえばこの水戸一高にもございます。私は初任で県立笠間高校に赴任し、監督として指揮をとりました。監督として最初の夏の大会3

回戦で一高と対戦し、応援の凄みとシード校を倒した勢いに圧倒され、コテンパンにされたのを今でも鮮明に記憶しています。当時の藤田先生、郡司先生、前監督の中山先生にはその後も何度となく胸をお借りしました。

前任校の県立取手松陽高校では野球から離れ、画業に打ち込んで参りましたが、こうしてまた野球に携われることになり、野球の神様が引き合わせてくれたご縁とっております。そのご縁に感謝し、小島部長、竹内監督、選手達を微力ながらサポートできればと思っております。一高野球部の一員としてお役に立てるよう務めて参りたいと思っておりますので、何卒よろしくお願いたします。

### 硬式野球部コーチ 早川 亮

平成21年卒

日頃より三の丸倶楽部の皆様方には大変御世話になっております。この度は三の丸倶楽部からの御支援を頂くことになりましたので、この場をお借りして御礼申し上げます。

去年の11月をもって4年間在籍した慶應義塾大学体育会野球部を引退しましたが、まだ学生ということもあり竹内監督やOBの方と相談し、6月からコーチという形で水戸一高硬式野球部に関わらせていただいております。捕手としての経験を活かして投手のピッチングを受けたり実践練習に参加したりと実際に選手達と一緒にプレーすることも私の役割ではない

かと考えながら日々の練習に臨んでいます。

加藤主将率いる前チームからコーチとして関わっていただきましたので、夏の大会では3年生の活躍や最上級生としてチームを支える気持ちの強さに感動しました。つくば国際戦はまさに3年生の強さが光った試合でした。だからこそあの敗戦は私としても非常に悔しいものでした。引退した3年生に対してもっと多くのことを伝えられたのではないかと思います。



対つくば国際シートノック

新チームには夏の大会を経験している選手が多く残っておりますが、あの3年生たちの心の強さを伝えると共に、技術的にもこのチームには伝え残すことが無いように精一杯選手達と向き合っていきたいと思っております。

短い期間ではありますが、水戸一高硬式野球部のためにできることを全力で取り組んでまいりますのでこれからも御指導御鞭撻の程宜しく御願致します。

## そうだったのね！ 水戸一高

### 創部の古い高校は？（ただし、諸説あります。）

1800年代に創部されたと思われる学校は、以下のとおりです。なにをもって創部とするかは学校によって違うようで、中には何名かの生徒が野球の練習をしていた時期まで遡って創部とする学校もあるようです。



創部年	学校(現在の名称)	創部年	学校(現在の名称)	創部年	学校(現在の名称)
1883年(明治16年)	青山学院高等部(東京)	1896年(明治29年)	慶應義塾高等学校(神奈川)	1898年(明治31年)	東京高等学校(東京)
	岐阜県立岐阜高等学校		鳥取県立鳥取西高等学校		山口県立山口高等学校
1889年(明治22年)	広島県立広島国泰寺高等学校		静岡県立静岡高等学校		立教新座高等学校(埼玉)
	学習院高等科(東京)		宮崎県立宮崎大宮高等学校		滋賀県立八幡商業高校
1890年(明治23年)	山形県立山形東高等学校		兵庫県立神戸高等学校		群馬県立高崎高等学校
	福島県立安積高等学校		千葉県立佐倉高等学校		滋賀県立膳所高等学校
1891年(明治24年)	茨城県立水戸第一高等学校		静岡県立浜松北高等学校		兵庫県立豊岡高等学校
1892年(明治25年)	同志社高等学校(京都)		栃木県立宇都宮高等学校		広島県立尾道商業高等学校
	愛媛県立松山東高等学校		山梨県立甲府第一高等学校		茨城県立土浦第一高等学校
1893年(明治26年)	広島県立福山誠之館高等学校		長野県立松本深志高等学校		福井県立武生高等学校
	北海道函館商業高等学校		大阪府立天王寺高等学校		奈良県立歌徳高等学校
	愛知県立旭丘高等学校		香川県立高松高等学校		下関市立下関商業高等学校(山口)
	大阪府立北野高等学校		愛媛県立西条高等学校		徳島県立城南高等学校
	島根県立松江高等学校	1897年(明治30年)	香川県立丸亀高等学校		熊本県立熊本商業高等学校
1894年(明治27年)	沖縄県立首里高等学校		千葉県立千葉高等学校		大分県立津南高等学校
	秋田県立秋田高等学校		宮城県立仙台第一高等学校		鹿児島県立鹿児島商業高等学校
	都文館高等学校(東京)		静岡県立藤山高等学校	1899年(明治32年)	広島県立広島商業高等学校
	滋賀県立彦根東高等学校		関西学院高等部(兵庫)		三重県立四日市高等学校
	京都府立洛北高等学校		兵庫県立姫路高等学校		北海道函館中部高等学校
1895年(明治28年)	関西高等学校(岡山)		奈良県立郡山高等学校		岩手県立盛岡第一高等学校
	埼玉県立熊谷高等学校		和歌山県立桐蔭高等学校		福島県立会津高等学校
	新潟県立新潟高等学校		岡山県立津山高等学校		栃木県立足利工業高等学校
	三重県立津高等学校		広島県立日影高等学校		大成高等学校(東京)
	福岡県立修猷館高等学校		青森県立八戸高等学校		東京都立日比谷高等学校
			群馬県立前橋高等学校		新潟県立長岡高等学校
			獨協高等学校(東京)		新潟県立新発田高等学校
			新潟県立高田高等学校		長野県長野高等学校
			愛知県立時習館高等学校		長野県諏訪清陵高等学校
			岐阜県立大垣北高等学校		富山県立高岡高等学校
			大阪府立岸和田高等学校		福井県立藤島高等学校
			岡山県立岡山朝日高等学校		愛知県立岡崎高等学校
			福岡県立明善高等学校		兵庫県立篠山鳳鳴高等学校
			長崎県立猶興館高等学校		福岡県立育徳館高等学校
			大分県立大分上野丘高等学校		佐賀県立唐津東高等学校
					鹿児島県立鶴丸高等学校
					鹿児島県立加治木高等学校

- (1) 会員の皆様のご支援、ご協力により、会員数は200名を超えました。公式戦をはじめ、練習試合にも応援いただけるようになり、幹事一同お礼申し上げます。残念ながら春季大会は地区代表決定戦で、茨城大会は二回戦で敗退しましたが、皆様の地道な応援の輪が夢の実現に繋がります。今後とも応援よろしくお祈いします。
- (2) 6月8日(日)に知道会館で平成26年度の総会を開催し、昨年度の活動及び会計報告、今年度の活動計画を提案して承認をいただきました。水府倶楽部担当幹事の小林幹事が退任され、新しく船橋幹事の就任も承認されました。会報2報発行、会員拡充などは例年通り進めます。
- (3) 今年度は野球部(監督)からの要請により、試合球20ダースを提供します。また、6月から就任された早川コーチ(平成21年卒、慶応大元捕手)へ水府倶楽部とともに謝礼金をさしあげます。

- (4) 水府倶楽部及び父母の会との共催で6月30日(月)に三の丸倶楽部鬼澤会長から「野球に学ぶチーム(組織)力」と題する講話をいただきました。茨城大会の組合せが決まった大会直前でもあり、会場の知道会館には部員、監督、部長をはじめ小田部校長先生、父母の会、水府倶楽部、三の丸倶楽部から約80名に出席いただき、ほぼ満席となりました。大会に向け、関係者が一丸となる動機付けができました。
- (5) 本倶楽部創設時に設けたホームページが6年を経過して改訂すべき点がいくつか顕在化してきましたので、業者(知道会会員)に依頼して現在改訂作業を進めています。会員の皆様の応援、交流の場となるよう、試合情報と投稿の場の提供に努めます。今秋には公開できると思っています。

なお、上記活動は4回の幹事会を開催して計画推進しました。



三の丸倶楽部鬼澤会長講話「野球に学ぶチーム(組織)力」 知道会館

現体制

- 顧問：稲葉節生 (S38年卒 元茨城県教育長)
- 会長：鬼澤邦夫 (S38年卒 常陽銀行会長)
- 副会長：—
- 事務局長：森 利克 (S38年卒)
- 幹事：船橋信正 (S63年卒) 【新任】
- 幹事：照沼貞夫 (S47年卒、H20年卒父母会)
- 幹事：池永充宏 (H23、24年卒父母会)
- 幹事：田村照悟 (S52年卒、H24年卒父母会)

//// 会員を募集しています ///////////////

現会員の皆様には友人、知人の方の勧誘をお願いいたします。  
 対象：水府倶楽部(野球部OB会)及び現野球部父母会の会員以外どなたでも入会できます。  
 特典：会員帽子(入会時)の配付、会報(年2回)の送付など  
 年会費：一口3,000円(何口でも可)  
 手続き：氏名、住所、TEL番号、メールアドレスを下記までご連絡ください。  
 連絡先：森利克 TEL/FAX 0294-53-1351  
 E-mail: ihm2158@ak.wakwak.com

//////// 新任幹事ご挨拶 //////////////////////////////////////

この度、三の丸倶楽部の幹事を務めることになった船橋と申します。

私自身、母校硬式野球部のOB(昭和63年卒)で、現役当時は投手をやっておりました(常総学院が島田投手を擁して全国準優勝した学年です)。

卒業してOB会である水府倶楽部などの活動に触れるにつれ、現役時代は多くの方のバックアップのもとに、野球に没頭することができていたのだなと

改めて実感しております。

幹事の中では唯一の野球部OBですので、後援会である三の丸倶楽部と水府倶楽部、そして監督や部長先生との橋渡し役となつて、現役チームの支えとなり、少しでも恩返しができるれば幸いです。

どうぞよろしくお祈い致します。



廣木 正倫 (昭和38年卒)

野球はアメリカで地面から湧き出るように生まれ、普及進歩していった。ボールを打つことで始まるベースボールは、気晴らし・楽しみのゲームであって、多くの人々の好んでプレイするところとなった。

日本に伝わった野球はエリートがする精神野球としてスタートした。一高(現東京大学)が国内最強のチームであった。早稲田や慶応が試合を申し込んでも相手にされなかった時代があった。単なる娯楽ではなく、知育徳育の涵養の手段として位置づけられた。また勝利至上主義で、母校の名誉のための戦いであった。練習も厳しく、時には過酷で、「血の小便を流す」ほどのものであった。

無敵を誇った一高を慶応が初めて破る日が来た。最後の打球は内野ゴロで、一塁手が体をいっぱい伸ばして送球を受けて試合終了となった。一高の選手の悔し紛れのコメントは、慶応のファインプレイの一塁手について、「我が一高健児の中にあのような片手取りをするような不埒な輩がいたら、我々は鉄拳の雨を降らせたであろう。」だった。

大学のみならず当時の中等学校でも、先進的教育の手段として、いくつかの学校で野球への取組が始まった。早稲田の選手が全国の中等学校の指導に赴いたとの記録もある。その当時、水戸中学も国内で最も早く野球を取り入れた学校の一つである。

手元に、黄ばんでしまった新聞の切り抜きがある。茨城県の野球の歴史を1か月にわたって連載したもので、掲載時期について確たる記憶はないが、自分が中学生の頃(おおよそ50年ほど昔の)、読売新聞の記事である。この記事によると中等学校野球の日本初の対校戦は水戸中学と宇都宮中学の間の試合がそれである。

私には、野球好きの友人が沢山いる。友人と飲んでの会話で、自分が飛田穂州の後輩である事、わが母校こそが日本の中等学校野球史上最古の対校試合を行ったのだということを静かに強い誇りを持って話したことが何度もある。

日本野球の黎明期に、進取の気概を養うべく貴重な教育の手段としてその先鞭を切って取り組んでいたわ

が水戸一高の伝統に、言葉では説明しきれない誇りを持っている。

今、母校の野球部の選手諸君の活躍を見るとき、そのプレイする姿が輝いて眩しく見える。それは、チームの全員に水戸中学以来の貴き伝統が宿っているからだ、強く信じている。この素晴らしい選手たちを全国の高校野球ファンに見てもらい、それを機に日本の野球の歴史がプロ野球の誕生より遙か前から、人間形成の貴重な手段として始められたことを新聞やテレビが紹介する日を待っている。

(入魂 第14号に続く)

## 茨城県

### 野 球

(こ)は先輩  
だが、こ  
致する(こ)  
は飛田の  
である(こ)  
順(徳洲)氏  
御所飛田忠  
生野球の大  
御所飛田忠

# 最古の対校試合

29明治  
年 水戸中と宇都宮中

茨城県が生んだ球人の筆頭に、あげなければならないのは、学心に相対野球が普及していったことと、心には想像できる。しかし、水戸

茨城県の歴史に球人の筆頭に、あげなければならないのは、学心に相対野球が普及していったことと、心には想像できる。しかし、水戸

この対校試合の決定が両校に伝えられたのは、明治20年の秋に宇都宮で行なわれた水戸中と宇都宮中学の対校試合である。なせならば、この試合で、水戸中学(旧制)の対校試合として、わが国最古のものである

現したのは、当時東部の第一高等学校野球部であった酒田として、戸村義相氏の勧めに、期せずして、一高に教をうけたために選手を卒業させた。それは、東部の球界を制したばかりでなく、横浜に遠征して、在住外人の組織するアマチュア・クラブと史上初の国際試合を行ない、予想をくつがえして再度にわたる大勝、いよいよその強みを発揮しはじめたのであった。すなわち、一高直伝の野球を身につけた水戸中学、宇都宮中学両校選手は本物の野球を握りに持ちかえったと考えたいだろう。この点でも後世の人たちは、先輩の努力に感謝しなければならぬ。

しかし、一高では、またこの年までは、捕手以外はいくくも選手で、ミットを用いてその必要を知らず、この必要を知らず、その使用を決定した。第一回の水戸中学対宇都宮中学定期戦という歴史的対決も、その内容は幼穉の域を出なかった。

## 第96回全国高等学校野球選手権 茨城大会

一回戦 平成26年7月7日(月) 水戸市民球場

天候：曇・雨

試合時間：2時間36分(9:57~10:25 中断 11:15~13:23)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
銚田二	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2
水戸一	1	3	0	0	0	0	0	0	×	4

バッテリー：樋川一海老澤

二塁打：加藤(2回)、海老澤(5回)

単塁打：和田(佳)(1回、2回)、木村(1回)、  
水嶋(2回)、樋川(3回、8回)



出場メンバー

1番	センター	和田(佳)	(2年)
2番	ライト	木村	(2年)
	4回レフト	海野	(3年)
	8回代打	高橋(侑)	(2年)
	8回代走	藤原	(3年)
3番	レフト	水嶋	(2年)
4番	サード	加藤	(3年)
	9回ライト		
5番	ファースト	高田	(3年)
6番	キャッチャー	海老澤	(2年)
7番	セカンド	菅谷	(2年)
8番	ピッチャー	樋川	(3年)
9番	ショート	吉田	(2年)
	9回サード		



二回戦 平成26年7月12日(土) 土浦市営球場

天候：晴

試合時間：2時間3分(12:19~14:22)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
つくば国際	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
水戸一	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1

バッテリー：加藤(～8回0/3)・樋川一海老澤

二塁打：菅谷(3回)、加藤(4回)

単塁打：水嶋(4回)、海老澤(7回)、高橋(侑)(8回)



出場メンバー

1番	ファースト	木村	(2年)
	8回代打	高橋(侑)	(2年)
	8回代走	藤原	(3年)
	9回ファースト	西連地	(3年)
2番	ライト	水嶋	(2年)
3番	ピッチャー	加藤	(3年)
	8回サード		
4番	レフト	和田(佳)	(2年)
5番	キャッチャー	海老澤	(2年)
	9回代打	高田	(3年)
6番	センター	海野	(3年)
7番	セカンド	菅谷	(2年)
8番	ショート	鈴木	(3年)
	8回ピッチャー	樋川	(3年)
9番	サード	吉田	(2年)
	8回ショート		



## 茨城大会 観戦記

### ◆三の丸倶楽部 谷口 祥

第一回戦は、7月7日、銚田二高との対戦であった。現役生徒で満員の水戸市民球場へのバスで向かっているときから小雨が降り始めていた。しかし、試合は予定通りに始まり、腕を振って校歌を歌う。

本校は後攻で、先発は樋川投手。1回裏の攻撃で、ヒットが続き、早速無死満塁のチャンスを作った。ここで、

4番の加藤主将が四球で押し出し、先制点を挙げる。現役生徒は降りしきる雨も何のその、肩を組んで歌っていた。その後、雨が強まり30分以上試合が止まってしまったが、グラウンド整備が行われ再開した。

その後すぐに球場を後にすることとなったため、ここからは知人から聞いたところによる。2回裏に2死1・2塁の場面で、水嶋選手が左前に、加藤選手が左翼線にそ

それぞれ適時打を放って3点を追加した。終盤に反撃に遭ったものの、樋川投手が直球主体に粘り強く投げて完投し、4-2で勝利し初戦を突破した。雨で鉦田二高は苦しんだようだが、本校の樋川投手は雨の対策をしてきたらしい。悪天候に負けず、序盤の4点を守り切った。



第二回戦は、7月12日、つくば国際高校との対戦だった。前回とは違い、熱い日差しの土浦市営球場だった。本校は後攻。先発の主将の加藤投手は立ち上がりこそ少し苦しんだものの、力強い投球が続き、内野の好守備もあってつくば国際の得点を許さない。

しかし、3回、4回と三塁まで走者を進めたチャンスを活かせない。お互いに攻めきれず無得点の状況が続いた。8回表に打たれ、無死1、3塁のピンチとなり樋川投手が継投。アウトを1つ取ったが犠牲フライ、適時打で2点の追加点を許してしまった。8回裏、ここまで四死球の無かった相手校投手のコントロールの乱れから四球で走者を2人出すなどし、2死満塁となりスタンドは大いに沸く。加藤主将が押し出した四球で1点差とするが、チャンスを活かしきれなかった。続く九回は三者凡退で、敗退した。130キロ超のストレートを最後まで打ち崩せなかった。加藤主将が2年生中心のチームをまとめあげ、強い相手に善戦した。

この観戦記を執筆しているのは、折しも本大会の最中である。私立の強豪の活躍が目立つなか、公立高校も負けじと頑張っている。なかでも、本校と同年の創立である静岡県代表・静岡高校は旧制中学校以来23度目の出場であり、更には学業でも県下一であるなど、様々な方面で良い成績を収めている。本校の更なる活躍に期待が持てる。

### ◆三の丸倶楽部 弓野 仁寿

2014年夏、土浦市営球場。マウンドで力投する加藤君の勇姿をみつめながら、私はあの夏の情景を思い出していた—

2012年7月16日、日立市民球場。加藤君は当時1年生で4番を任せられ、出場していた。序盤で0-8とリードされながら、中盤以降、驚異的な猛追を展開したものの、1点及ばず、惜敗。おそらく加藤君には先輩たちの意地や気迫を感じられたことだろう、そして彼自身が先輩になった時、後輩たちの道標になって欲しいと、私は勝しながらそんなことを考えていた。

さて時は戻って、つくば国際高戦。0-2で迎えた8回裏、2死満塁の好機で加藤君に打順が回ってきた。ここは自分が打ってチームを鼓舞したい、主将自らのバットで2年生主体のチームに力を与えたいという気概もあったに違いない。しかし冷静に四球を選び、1点差とし、4番を打つ2年生に次を託したのだった。主将は1塁上から、2年生の4番打者に『頼むぞ!』と心の中で叫んでいたことだろう。

先輩が後輩へ示す姿や精神力は伝統として受け継がれていくものなのかもしれない。1年生から出場していた加藤君も先輩たちの姿を追いかけ、そして2年後、今度は自分が後輩たちに自らの姿を見せ



ていたのだ。

敗戦の翌日、各紙で彼を取り上げた記事が掲載されていたが、中でも竹内監督の言葉が印象的だった—『率先して下級生に模範を示す。リーダーシップは超高校級だ』

新チームが始動し、また新たな挑戦が始まっている。歴代の先輩たちが残していったものを胸に刻みながら、現役部員の皆さんは今日も練習に励んでいることだろう。私は水戸一高の伝統を感じながら、これからも応援をしていきたいと心から願っている。

### ◆三の丸倶楽部 鹿島 陽夫

台風8号の影響により試合日程が心配でしたが、水戸一高の二回戦は予定通りの試合開催となりました。当日は好天に恵まれ、まさに野球日和の一日でした。土浦市営球場には今回初めて足を運びましたが、土浦駅から徒歩で約10分、霞ヶ浦のほとりと好ロケーションの球場でした。

入場後に応援席を見まわすと、野球応援でお馴染みの同級生数人が集まっていたので、一緒に応援することにしました。一高は後攻で、ほぼ定刻に試合が始まりました。

一回表、いきなり一死一三塁の窮地を迎えましたが、内野ゴロで併殺と無失点で上手く切り抜けました。

三回裏、一死三塁と絶好の先制機を迎えましたが、痛恨の牽制死で、結局無得点に終わってしまいました。

四回裏、一死二三塁と再び好機到来、しかも打席には四番と、いやが上にも期待が高まりました。しかし、願いかなわず、また無得点に終わりました。

六回表、一死一二塁の窮地を迎えましたが、落ち着いて後続を抑えて無失点で切り抜けました。

八回表、これまで双方とも好機を作りながら攻めきれずにおりましたが、ついに試合が動き出しました。無死一三塁の窮地を迎え、ここまで好投してきた先発投手から救援投手に交代。一死二三塁としましたが、犠飛でついに1点を失いました。しかし、二死にはなったので、ここで何とか踏み止まって欲しいところでしたが、相手四番の適時打で2点目を奪われてしまいました。

八回裏、点が入ったことで相手投手も力が入ったのか、制球を乱して四球と安打で二死ながら満塁の好機を迎えました。ここで、三番の主将が押し出し四球を選び一点差に詰め寄り、応援も最高潮に盛り上がりました。しかし、続く好機を生かすことが出来ず、追いつけませんでした。

九回表、二死三塁の窮地をしのぎ、九回裏の攻撃に望みを託すことになりました。

九回裏、ファールで粘るなど意地を見せましたが、三者凡退に倒れて一点差で惜敗。

残念ながら今夏は2回戦で敗退となりましたが、一高野球部の今後の活躍を願っております。



# 硬式野球部員名簿

(敬称略)

部長 小島 淳

監督 竹内 達郎

顧問 吉成 隆一

太田 泰助



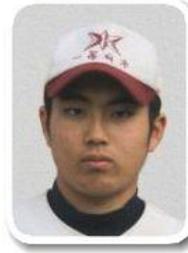
川又豪士 二年  
投手 水戸五中



丹下雅也 二年  
投手 城里常北中



海老澤広平 二年  
捕手 美野里中



小貫柁人 二年  
外野手 赤塚中



木村文哉 二年  
内・外野手 美野里中



菅谷亮太 二年  
内野手 明光中



高橋朋宏 二年  
投手 那珂一中



高橋 侑也 二年  
内野手 那珂一中



塚田涼太 二年  
捕手 協和中



箱守翔平 二年  
内野・投手 友部中



橋本大地 二年  
投・内野手 水戸四中



水嶋啓仁 二年  
外野手 赤塚中



村山朋哉 二年  
内野手 大島中



吉田幸一郎 二年  
内野手 水戸五中



和田智樹 二年  
投・外野手 美野里中



和田佳樹 二年  
内・外野手 美野里中



小林 愛 二年  
マネージャー 大宮一中



一ツ木美有 二年  
マネージャー 水戸四中



益子奈々 二年  
マネージャー 瑞竜中



石津賢弥 一年  
内野手 茨大附属中



市村悠大 一年  
投手 美野里中



皆藤駿之介 一年  
内野手 双葉台中



金子 舜 一年  
内野手 大洗一中



佐藤広基 一年  
外野手 大島中



静間崇元 一年  
内野手 水戸一中



柴沼泰将 一年  
外野手 笠間東中



鈴木文健 一年  
捕手 那珂一中



早船祥希 一年  
捕手 水戸二中



古川稔己 一年  
内野手 多賀中



山口 諒 一年  
外野手 千波中

# 試合結果・予定

## 平成26年度前半 公式戦・準公式戦結果

月	日	大会	球場	結果
4月	12日(土)	春季地区一回戦	笠間市民	○10-0茨城東
	14日(月)	春季地区代決戦	笠間市民	●4-6 銚田一
5月	31日(土)	市内	水戸葵陵高	●5-7 茨城東
7月	7日(月)	茨城大会一回戦	水戸市民	○4-2 銚田二
	12日(土)	茨城大会二回戦	土浦市営	●1-2 つくば国際
以下 新チーム				
8月	17日(日)	ジュニア一回戦	玉造工	●5-10水戸啓明
	20日(水)	ジュニア一敗者復活一回戦	那珂高	○14-0茨城東
	21日(木)	ジュニア一敗者復活二回戦	常盤大	○6-4 常盤大

## 平成26年度前半 練習試合結果

月	日	球場	結果	
3月	9日(日)	清真高	○6-2 波崎柳川 ●1-5 清真	
	16日(日)	東洋大牛久高	●0-8 つくば国際 ●1-7 東洋大牛久	
	23日(日)	農大二高(群馬)	○14-5下伊那 長野県立 ●5-6 農大二 私立	
	25日(火)	牛久高	●5-13牛久 ●1-4 "	
	27日(木)	玉造工	●6-11玉造工 ○11-10波崎	
	28日(金)	県営	○5-4 横手 秋田県立 ○3-2 "	
	29日(土)	勝田高	○5-0 勝田 宮城県立 ●2-9 黒川 群馬県立	
4月	5日(土)	水戸一	○4-1 中央中等 ●5-6 "	
	6日(日)	下館工	●0-2 下館工 ○6-4 "	
	19日(土)	中央高	●1-5 中央高 ○7-6 "	
	20日(日)	水戸一	●1-3 安達 福島県立 ○10-4 "	
	26日(土)	佐竹	○4-3 佐竹 ●3-6 "	
	26日(土)	佐竹	○4-3 佐竹 ●3-6 "	
	27日(日)	水戸農	●6-8 水戸農 ●6-7 鬼怒商	
	29日(火)	勝田工	○19-9茨城 ●5-6 勝田工	
5月	5日(月)	宇都宮	●0-4 宇都宮 ○5-4 " ○2-1 "	
	6日(火)	土浦一	●3-6 土浦一 ●7-8 "	
	11日(日)	水戸一	○9-6 沼津東 静岡県立 ●1-2 緑岡	
	18日(日)	真岡工	○6-5 真岡工 栃木県立 ●2-8 "	
	19日(月)	水海道一	●3-8 水海道一 ●0-10 "	
	24日(土)	常葉菊川	○10-0大津 滋賀県立、5回 ●0-11常葉菊川 私立	
	25日(日)	愛工大名電	●1-5 愛工大名電 私立 ●0-3 "	
6月	15日(日)	水城	●2-6 銚子商 千葉県立 ●3-8 水城	
	23日(月)	岩瀬日大	○6-5 岩瀬日大 ○18-3 "	
	28日(土)	太田工	●4-16太田工 群馬県立 ●4-6 宇都宮白揚 栃木県立	
	29日(日)	鹿窪運動公園	△3-3 下館工	
以下新チーム				
7月	27日(日)	清真高	●4-6 清真 ○10-3 "	
8月	2日(土)	三和高	○8-3 玉造工 ●3-5 三和	
	3日(日)	三和高	○15-4坂東総合・八千代 合同チーム ○16-4 "	
	4日(月)	岩瀬日大	●0-2 有馬 神奈川県立 ○2-0 "	
	7日(木)	水戸一	○7-2 綾瀬 神奈川県立 ○4-2 "	
	12日(火)	慶応(日吉)	●2-7 橘 川崎市立 ●0-23慶応 私立	
	15日(金)	あぶくま	△3-3 安積 福島県立 ○2-0 " △7-7 " ○6-3 水海道一 ●2-3 "	

## 平成26年度後半 (H26.9.1~H27.3.31) 試合予定 (H26.8.24現在)

月	日	大会・対戦校・会場等	(V:相手高G, H:水戸一高G)
9月	8日(月)	秋季水戸地区予選組合せ抽選会	
	13日(土)	秋季水戸地区予選(~/9/16)	
	21日(日)	練習試合	対下館工(V)
	22日(月)	秋季県大会組合せ抽選会	
	26日(金)	秋季県大会(~/10/5)	
10月	19日(日)	練習試合	対千葉敬愛(V)・検見川
	25日(土)	秋季関東大会(~/10/29)	(於 千葉県)
11月	1日(土)	水戸地区一年生大会	
	8日(土)	練習試合	対水戸農(V)
	9日(日)	菊池杯	土浦一高関係者交流戦
	30日(日)	定期戦	対水戸商業(H)
H27年	3月	8日(日)	練習試合解禁日

## 茨城大会 2014



### 編集後記

甲子園周辺を探索するべく神戸空港に降り立ったのは八月も半ばの事でした。我が一高野球部は、今年全国大会出場を逃しましたが、いつか訪れるに違いない、めでたい日の為に下調べをしようと思ったのです。◆学業において予習が大切なのは知れた事、ならばこのことは我が一高野球部の役にたつはず。ところが、いかなる天の配剤か、その日試合はさくさく進み、空港ロビーで見たものは、第四試合の六回表。いまさら、どうがんばっても試合に間に合うはずもないと、予習は諦めて三ノ宮の夜に繰り出したのでありました。◆今思えば、甲子園に行くなら一高野球部と共にあれという、神様の思召だったのでしよう。抜け駆けは許さんぞと。応援バスには、是非乗せてもらいたいものです。◆3年生の皆さん、お疲れ様でした。

(照沼)